

キングジム 新サービズ事業開始 エアコン室外機への遮熱塗料塗装

株式会社キングジム(宮城)は、重要事業性を増しており、近年では大手企業がサプライヤーとして、CO2排出量削減に力を入れていることから、その取引先であるエアコン室外機へ遮熱塗料を塗装することにより、CO2排出量を削減し、地球温暖化による気候変動や異常気象が深刻化している背景から、CO2排出量削減への取り組みは一

量削減が求められている。一方でCO2排出量削減業務に携わっている企業の担当者には「具体的な施策や何をすべきかがわからず悩んでいる」といった悩みがあり、関連するサービズの導入において「ランニングコストを安く抑えられ、初期導入が簡易にできること」が重要視されている。キングジムではそのような背景を踏まえ、株式会社コバヤシと共同で「エアコン室外機への遮熱塗料塗装サービズ」を展開した。同サービズは、エアコン室外機と周辺の床に遮熱塗料の塗装をおこない、さらに同様の遮熱塗料を塗装した専用ルーバーを設置する

ことでエアコンの稼働効率を上げ、年間約10〜20%のCO2の排出量・電気代の削減を実現する。一度施工すると13〜15年の耐久性があり、施工費用を数年で回収できる。「エアコン室外機への遮熱塗料塗装サービズ」概要 使用する遮熱塗料は、太陽熱の反射率を約90%以上キープしながら、塗料内の中空ビーズによる断熱層を形成することで、遮熱性と断熱性を両立。夏場の室外機の温度上昇をしっかりと抑えることができ、年間約10〜20%のCO2排出量・電気代を削減。トップコートを施すことで高い耐久性を実現でき、一度塗装すれば基本的に約13〜15年の間は塗りなおしが必要で、メンテナンスによるランニングコストを削減でき、施工費用も数年で回収できる。

冬場、室外機の熱交換部に霜が付着することで発生する「霜取り運転」はエアコンの稼働効率を下げるが、専用ルーバーを取り付けることで、霜の付着を抑えることで、霜の付着を抑えることで、稼働効率を向上させる。専用ルーバーには遮熱塗料が塗装されているため、夏場はひさし代わりとなり、室外機の温度上昇抑制につながり、年間を通じ

てCO2排出量・電気代削減に効果を発揮する。同サービズで使用している遮熱塗料は伸縮性が高く、200%以上の伸びに対応しているため、室外機や周辺の床にびったり密着する。振動や衝撃に強く、ひび割れ(クラック)が起きにくい性質。また、水性塗料のため匂いも少なく、塗装作業中の周囲への影響も最小限に抑えられる。同サービズは空調を稼働したまま施工が可能。日々の業務への影響がなく、従業員への負担を抑えることができる。施工可能エリアは関東1都6県(東京都・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・神奈川県・埼玉県)。

発売1カ月半で年間目標数達成 サクラクレパス 株式会社サクラクレパス(西村彦四郎社長、大阪市)が今春発売の子ども向けの収納ファイル「こまこまファイル」がユーザーのX投稿からバズり、発売後1カ月半で、年間目標販売数を達成した。X投稿では、小さいシールや便箋など溜まりがちなアイテムの収納に活用する人が使用シーンと共に「こういうのがほしかった」という声があった。

前年比1.1%増

2023年度筆記具の販売額

総販売額は1612億1800万円

日本筆記具工業会の今年度総会資料で報告された、2023年度の筆記具業界の動向は次の通り。2023年度のわが国の状況は、新型コロナウイルス感染症が年初より終息の兆しが見え、5月に第5類への移行とともに公的にも終息した。2020年よりはじまったこの感染症の為に、丸3年間経済は失速し

た。しかし自粛3年目の2022年は既に経済が復調し始めてきた。海外が先行してコロナ前に戻りつつある勢いであった。これを踏まえて2023年の業界動向をみると、コロナから完全に復調した1年間なのに、販売金額の前年比で1.01%というところ(2019年の金額に比べると99.2%だった)。生産数量に至っては前年を割っているものが多い。2023年の日本のGDPは名目5.7%であった。ドイツに負けて4位に墜落したことに気をとられて、他の業界はそれでも5.7%伸びているのである。なぜ、筆記具だけ1%しか伸びていないのだろうか。

株高や輸出の円安による収入で2023の業績は増収増益であったかもしれないが、もっと大きな流れが筆記具業界に迫っている。対策を急がねばならない。(なお、シャープペンシルは好調だが、人気の高まるシャープを含む多機能筆記具はここに分類される。また、生産は国内工場における生産だけの数字であり、販売は海外工場生産品も含む)と報告した。別表の2023年度の筆記具類の販売額は、対前年比1.1%増の1612億1800万円、このうち主要品目で最も前年を上回ったのはシャープペンシルの15.7%増で、その他の主要品目では油性ボールペン2.5%増、マキングペン1.3%増の2品目、逆に前年を下回ったのは鉛筆が6.8%減、水性ボールペンが0.8%減となった。

2023年筆記具類の生産・販売状況

品目	単位	生産数量	前年比	販売			
				数量	前年比	金額	前年比
ボールペン	千本	1,618,972	-8.6	1,633,101	-8.1	77,939	0.1
油性水性		311,273	2.2	314,397	1.6	20,990	2.5
マキングペン	千本	735,154	0.2	870,961	-3.4	45,428	1.3
シャープペンシル	千本	121,454	2.7	112,276	3.3	18,437	15.7
鉛筆	グロス	894,570	-27.3	1,360,715	-14.3	5,739	-6.8
完成品合計	千本	147,541	1.9
シャープ芯	千本	2,214,292	-6.2	2,135,464	-11.5	3,751	4.3
クレヨン・パステル	千本	79,468	2.2	112,124	-4.9	5,598	1.8
修正液	千本	10,549	-19.9	12,795	-12.3	884	-21.2
修正テープ	千個	495	-41.4	39,281	-26.7	3,444	-21.6
総計		161,218	1.1

資料の出所: 繊維・生活用品統計 (シャープ芯の調査は筆記具工業会によるもの)

ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL (06) 6747-7711・FAX (06) 6747-5557

代表取締役会長 徳弘 滋 代表取締役社長 徳弘 恭子



第一支店・第二支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店
グループ会社 株式会社 エヌケイ深井

文具・事務用品・雑貨卸商社

紀寺商事株式会社

http://www.kitera-shouji.co.jp

■本社 〒590-0025 堺市堺区向陵東町1丁目8-9
TEL (072) 259-1006 代表

■東大阪支店 〒577-0013 東大阪市長田中4-6-33
TEL (06) 6747-0098 代表

■中もず営業所 〒591-8022 堺市北区金岡町3003-16-A号
TEL (072) 255-6544 代表

■アンテナショップ ステーションアリーAURA (アウラ)
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-16-1
新大阪駅2階「アルテ新大阪」内
TEL (06) 6303-8517

■関連会社 株式会社パトス (法人向け事務用品全般の納品)
AKG株式会社 (3PL物流・人材派遣)

富士封筒

http://www.fujix-kk.com

長形封筒・角形封筒・洋形封筒・ハイプレス封筒
フジパック・ミニフジパック・保存袋・フィルム(ポリ)袋
手提げ袋・レントゲン袋・名刺用紙・私製ハガキ・挨拶状カード
賞状用紙・領収書用紙・のし紙・のし袋・エコノクッション封筒
別注封筒他 産業機器販売

ISO 9001・ISO 14001 認証取得



本社 〒577-0066 東大阪市長田中2丁目7番18号
TEL (06) 6784-3900(代) FAX (06) 6784-4100
東京営業所 TEL (03) 5495-7521(代) FAX (03) 5495-0622
名古屋営業所 TEL (052) 209-5580(代) FAX (052) 204-3200